

心の ともしび



No.772 2022年8月

「平和」

暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう



「友だちになる」

長崎大司教区 ペトロ 中村倫明 なかむらみちあき 大司教



本年二月二十四日にロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まりました。その侵攻は、数か月たっても収まらず、それは単に街を破壊するだけではなく、罪なき市民も犠牲になり強制移住や無差別攻撃など、残虐な行為が行われていた事実も明らかになっています。もうあれは戦争ではなく、一方的な虐殺、テロだとも言われています。

あの残虐な侵攻は、わたしが長崎教区の教区长として着座した翌日のことでした。「おめでとう」と道で出会う人々からのご挨拶、お手紙での祝辞、お祝いの花に添えられた祝メッセージの渦に包まれている中、言葉では「ありがとうございます」と感謝しながらも、「今おめでとうと言っているような状況ではないよ」と心では思っていました。

確かに、あの侵攻は、わたしの着座が原因ではないかもしれませんが、でも心のどこかには、このわたしのせいではないかというこのわたしとの関連性を持っていました。

だって、このわたしは聖人ではないし、むしろ欠点多く、他人を躓かせるような罪人だからです。こんな取り柄のない、能

力も才能も乏しい人間が大司教になること自体が、考えられない、まるで信仰の世界を侵攻し脅かしているようなそんな状況にすら思えていました。このわたしだって、味方よりも敵を作り、敵も味方も傷つけ、敵の不幸を喜ぶような部分があります。ですからロシアの侵攻は、他人事ではなかったんです。このわたしのうちにも存在している問題でもありました。

でも逆に言えば、回心の時でもあったわけです。このわたしが回心して、敵よりも友だちを作ることになったこと。だって神さまは、こんなわたしを選んでくださり、「友」と呼んでくださいます。（参ヨハネ15・14）あの裏切り者のイスカリオテのユダにさえ「友」と呼びかけてくださいました。（参マタイ26・50）

このわたしのうちから平和を作っていくこと、友だち作りを行っていくこと、そこから、世界平和にもつながっていくべきではないかと思えます。

できれば、プーチンさんとも友だちになって何でも話ができるようになればいいなあと思います。

ホームページ (<https://www.tomoshibi.or.jp>)



【心のともしび運動 ご支援のお願い】

心のともしび運動は、世界の平和と一人ひとりの真の幸せを願って、ラジオ、機関紙、インターネットを通じて神の言葉を伝えています。この活動は、すべて援助会員の皆様からの献金によって運営されています。人として人のために生きる力の泉となる神の言葉を一人でも多くの方に伝えられるよう、ぜひ、援助会員になってご支援くださいますようお願い申し上げます。

住所、氏名を下記までお知らせください。申し込み用紙をお送りさせていただきます。

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上ル 電話075-211-9341 心のともしび運動YBU本部